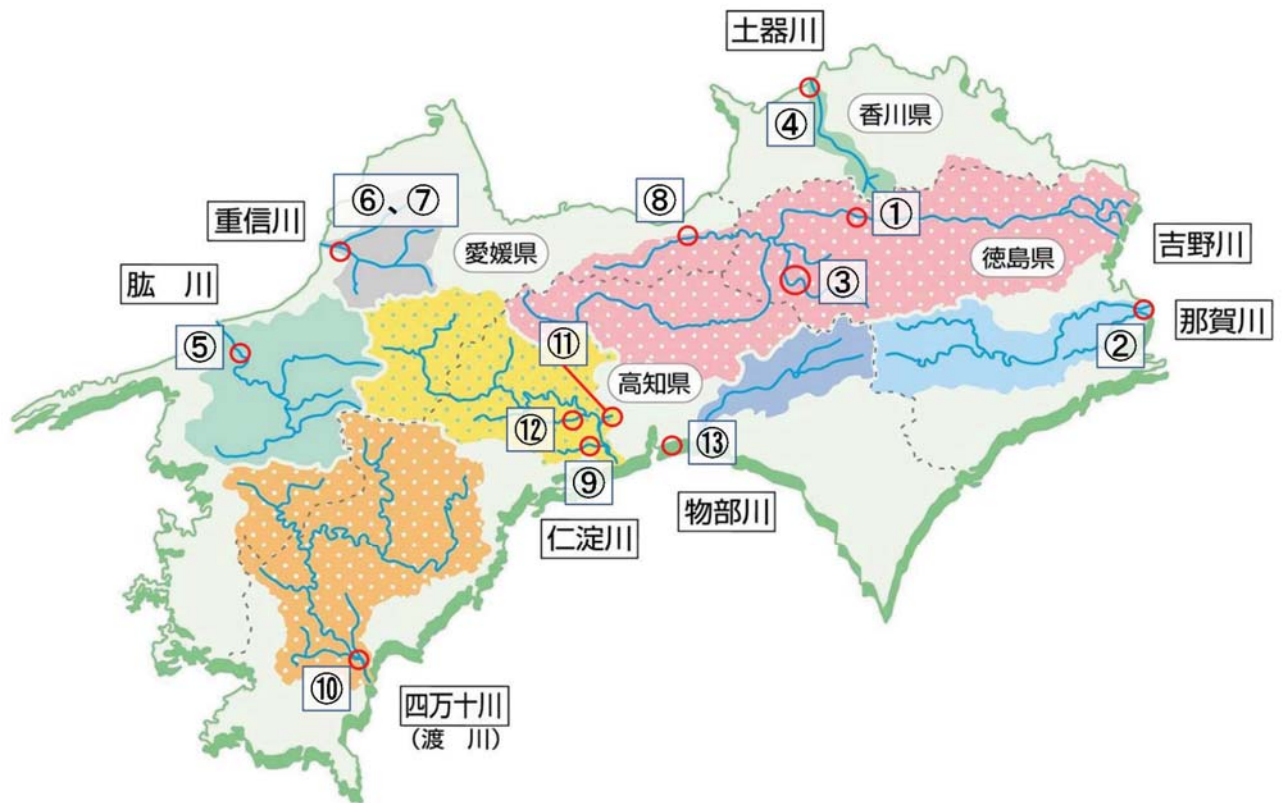


四国のくらしと経済を

支えるインフラ

—インフラのストック効果—

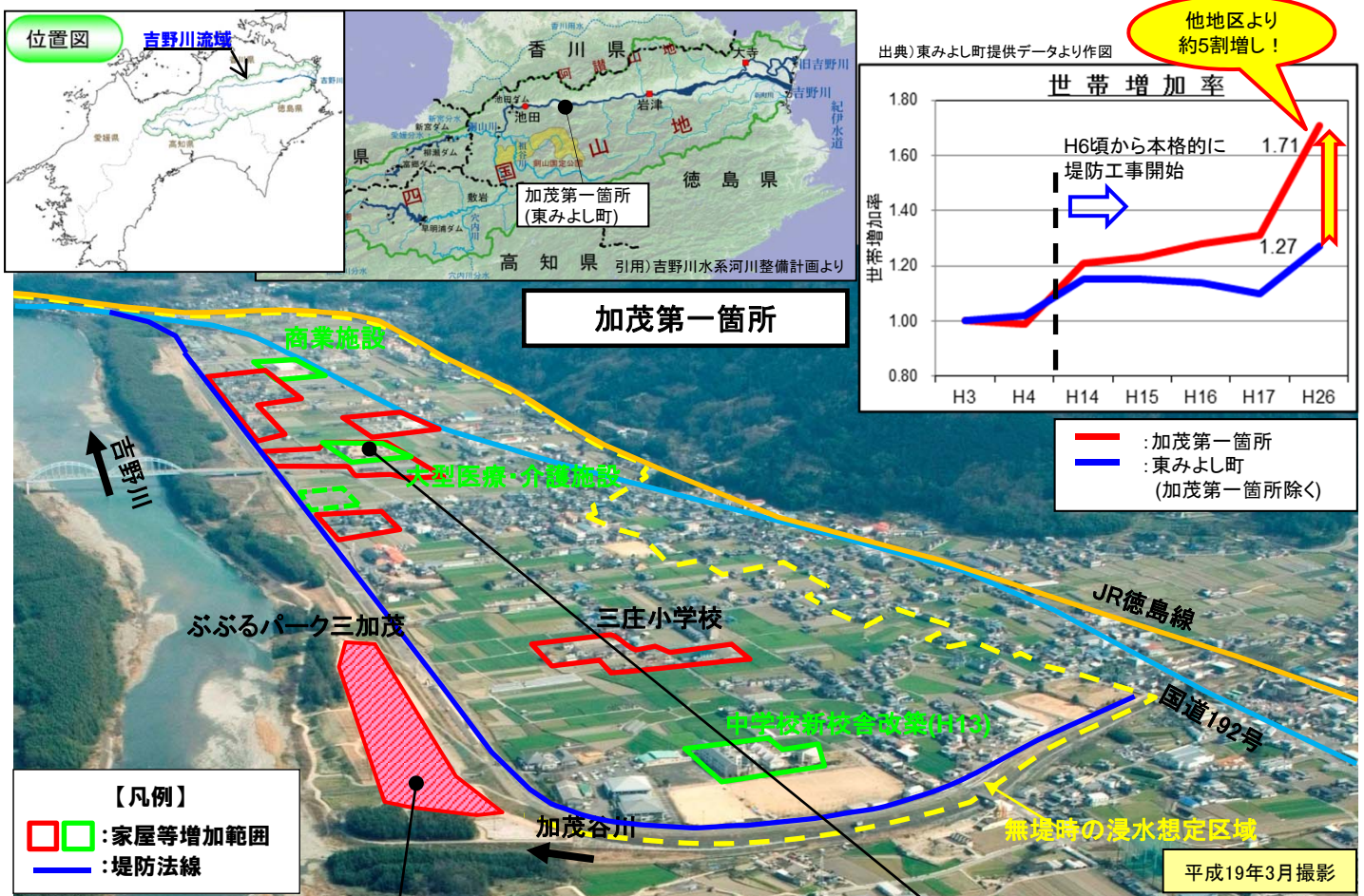
河川事業等のストック効果



番号	県名	市町村名	事業種別	タイトル	ページ
①	徳島県	東みよし町	河川	ゆとりある暮らしの創造を実現した加茂地区堤防	1
②	徳島県	阿南市	河川	南海トラフ巨大地震に備える堤防整備	2
③	徳島県	三好市	砂防	日本三大秘境「祖谷」砂防・地すべり対策で観光アメニティを向上	3
④	香川県	丸亀市	河川	土器川は四国随一のスポーツ交流拠点	4
⑤	愛媛県	大洲市	河川	治水安全度の向上により南予の拠点へ	5
⑥	愛媛県	松前町、伊予市	河川	地域経済を支える堤防整備	6
⑦	愛媛県	松山市	ダム	松山市の農業活性化に寄与	7
⑧	愛媛県	四国中央市	ダム	ダム・港が支える日本一の製紙業	8
⑨	高知県	土佐市	河川	新たな導流路により期待が実現へ	9
⑩	高知県	四万十市	河川	河川敷の樹木伐採により四万十川に新たな観光地が誕生しました	10
⑪	高知県	いの町	河川	「安全・安心の確保」で商業施設等が続々と進出	11
⑫	高知県	日高村	河川	トマトの村を支える日下川放水路	12
⑬	高知県	南国市	海岸	ししとう全国一を守る堤防ぜよ	13

ゆとりある暮らしの創造を実現した 加茂地区堤防〔徳島県三好郡東みよし町〕

- ◆加茂地区における堤防は昭和63年より事業着手し、平成25年に完成し、地域の安心・安全を向上させることで、生活基盤(医療機関や介護施設)が充実し、居住し易い地域へと変貌。
- ◆加えて、水辺の楽校整備により吉野川の雄大な自然や風土を活かした安らぎのある水辺空間を創造。
- ◆「堤防」及び「環境」整備の相乗効果により、生活と川が調和した、ゆとりある生活空間を創造。
- ◆築堤事業により、東みよし町が掲げる「元気・交流・未来」を目指したますますの発展が期待される。



生活における河川水辺との調和

遊学作
ぶぶるパーク三加茂

“水辺の楽校”

- ・身近な自然とのふれあい
- ・自然に親しむレクリエーション空間
- ・自然を用いた文化・芸術の創造

より近い自然
体験の実現

地域発展に伴う生活基盤の充実

●大型医療施設



- ・施設4階建て、220床数を備える大型施設
- ・多機能を備えた町内トップクラスの医療施設

●老人介護施設



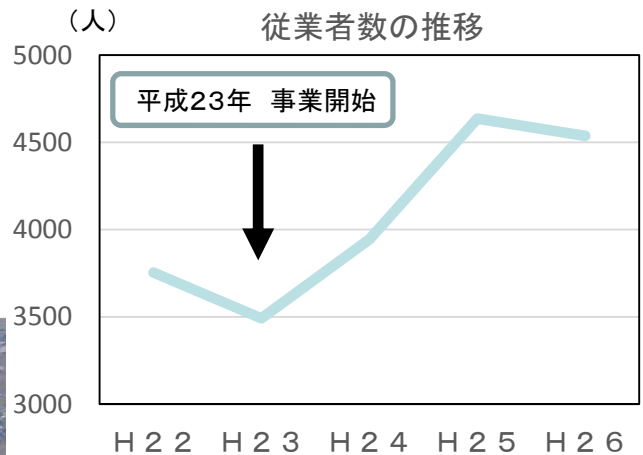
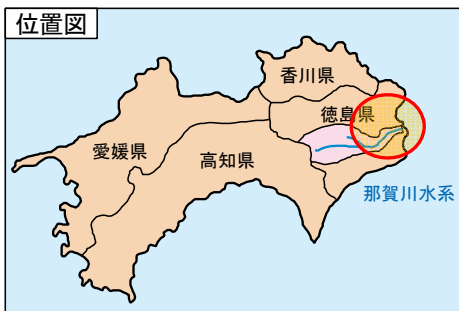
引用) 健祥会グループHPより

引用) 健祥会グループHPより

医療・介護の充実

南海トラフ巨大地震に備える堤防整備（徳島県阿南市）

- 阿南市臨海部である那賀川・桑野川の河口部では、南海トラフを震源とする巨大地震等で発生が予想される浸水被害の軽減を目的として、**堤防の嵩上げ等地震・津波対策を実施。**
- 阿南市の主要な工業地であるこの臨海部（富岡地区）では、世界生産の約20%（世界一）を占める発光ダイオード（高輝度）や関連製品などを生産。
- 富岡地区では対策前後で従業者数が堅調に推移しており、**地震対策による浸水リスクの低減により、地域の企業活動を支えている。**



※出典：阿南市
 ※従業員30人以上の事業所を対象に計上



日本三大秘境「祖谷」砂防・地すべり対策 で観光アメニティを向上！【徳島県三好市】

- 「祖谷かずら橋」を中心とする日本三大秘境「祖谷」（徳島県三好市〔旧西祖谷山村〕）の観光ルートと観光資源を災害から守り、観光交流人口及び観光産業に寄与。
- 砂防・地すべり対策の促進により、**観光客収容施設の拡大・高度化と大規模宿泊施設の増加**。県道32号線の改良と相まって、「祖谷かずら橋」年間来訪者数が増加（昭和57年約15万人→平成26年約30万人）、外国人宿泊者数が増加（平成19年約500人→平成26年約6,000人）。



- ・大型駐車場、物産館、食堂などの複合施設
- ・施設背後の地すべりブロック対策が貢献

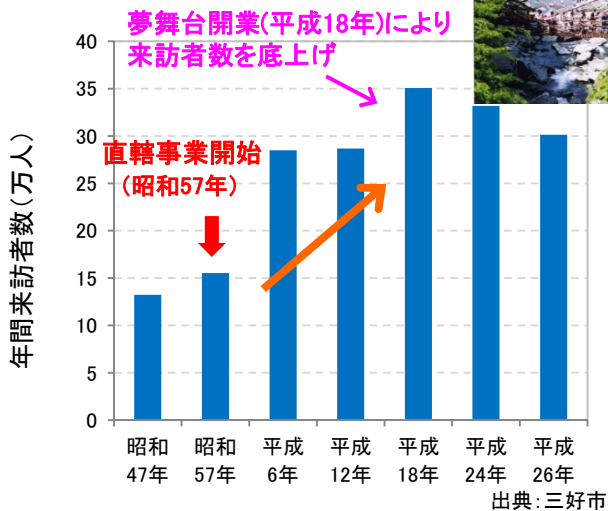
◆かずら橋夢舞台の開業(平成18年2月)



◆土石流発生状況(平成11年6月)

◆観光客数の増加

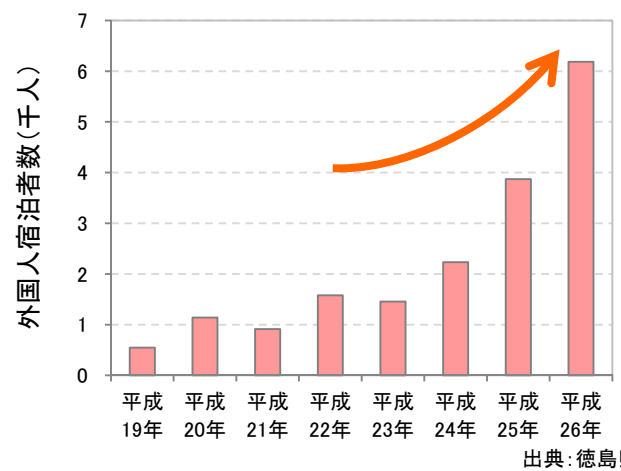
＜祖谷かずら橋来訪者数＞



◆大規模宿泊施設の増加 外国人宿泊者数の増加

＜外国人延べ宿泊者数＞

(大歩危祖谷いってみる会5施設合計)



どき 土器川は四国随一のスポーツ交流拠点【香川県丸亀市】 まるがめ

- 河川堤防の整備に合わせ四国随一の大規模運動公園「土器川河川敷公園」を整備[野球場11面、ソフトボール場8面、サッカー場6面、自由公園]。
- 規模を生かし、全国規模の大会も開催され、河川空間の利用者数は倍増し、スポーツ交流拠点に成長。
- 近隣に、「複合型大規模ショッピングセンター」が立地され、交流人口の増大とあわせ、地域経済への効果も絶大となっている。

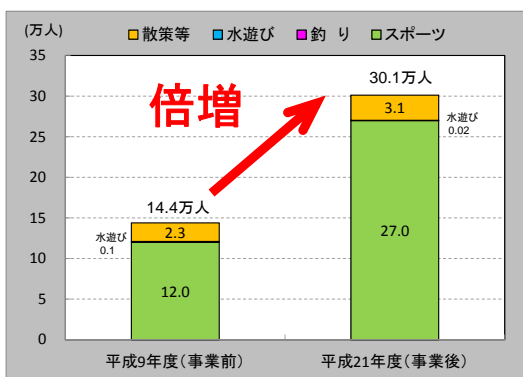
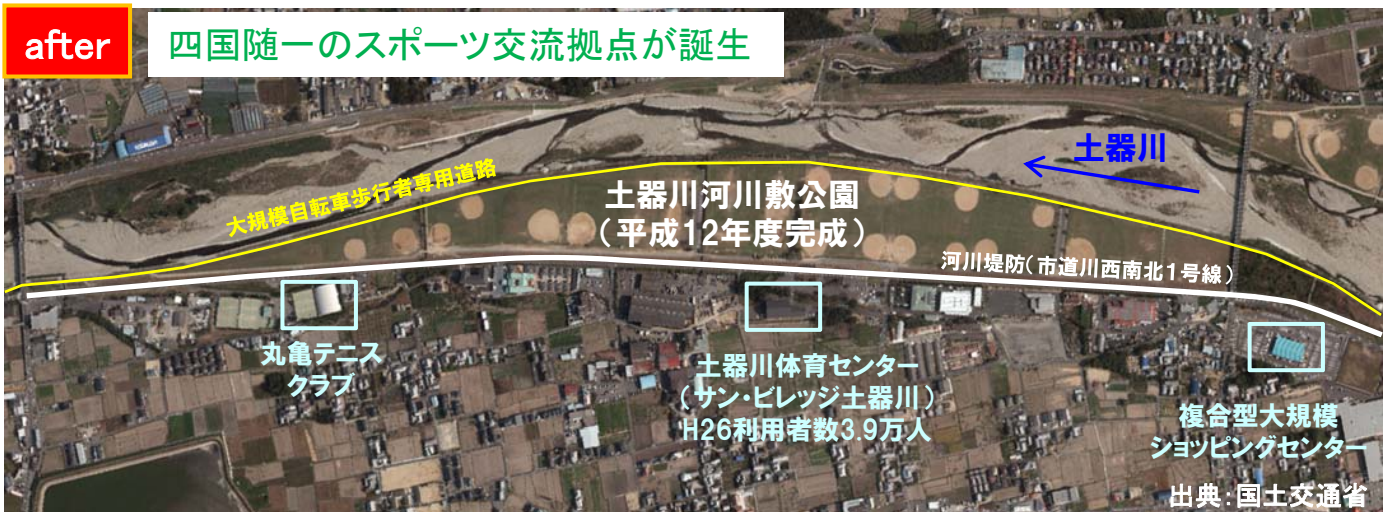


図 河川事業前後の利用者数の変化

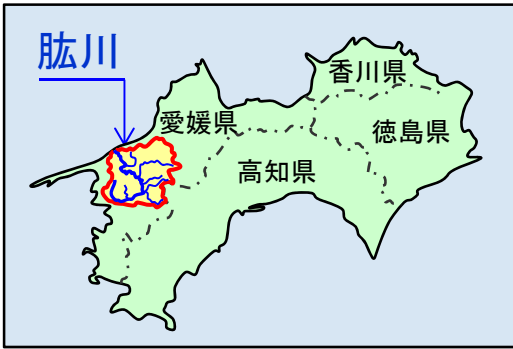


公園利用状況

治水安全度の向上により南予の拠点へ！【愛媛県大洲市】

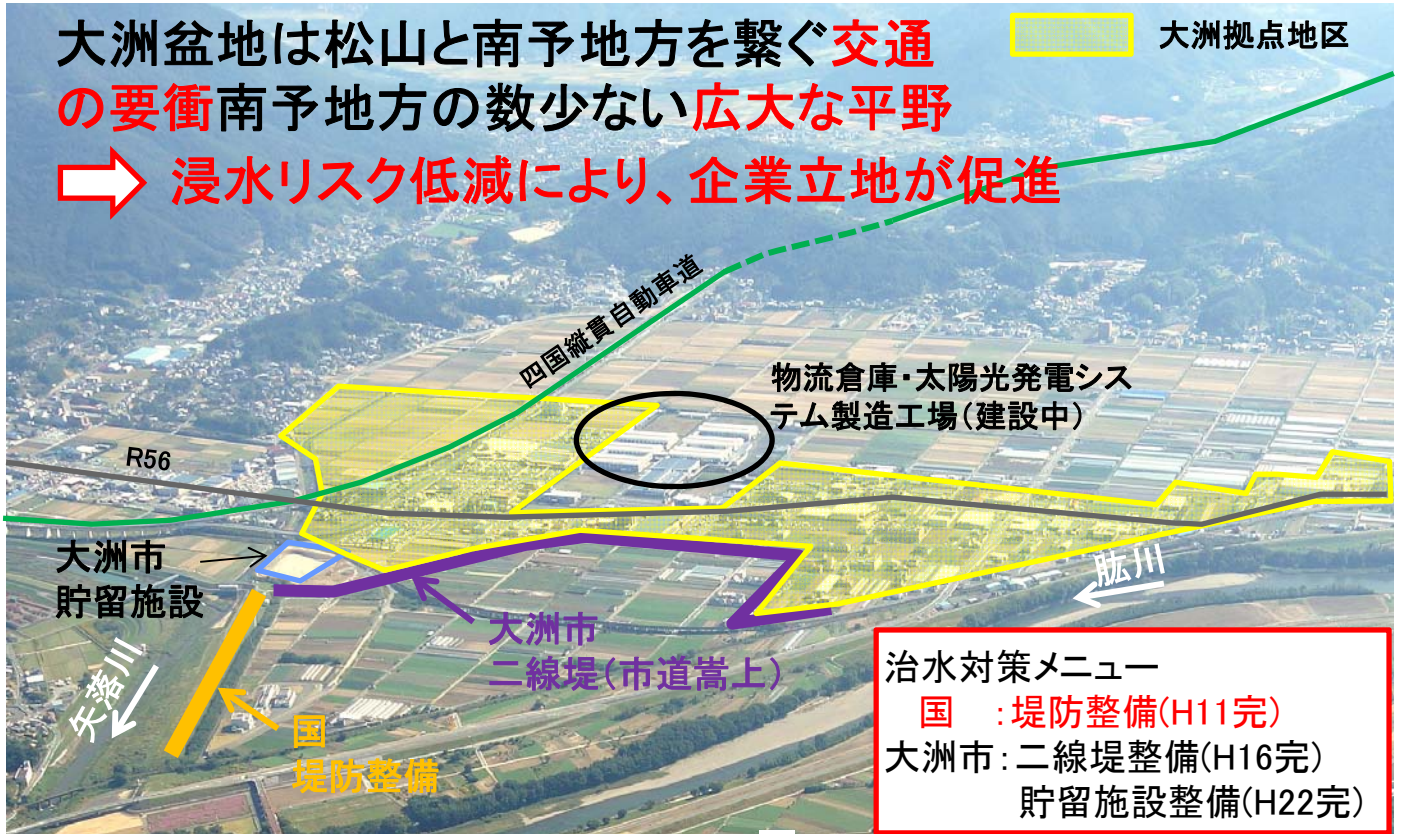
○国、大洲市による治水対策等により、大洲拠点地区の大きな被害があった平成7年と同規模の雨による浸水被害の軽減を実現。

○段階的な治水安全度の向上により、浸水リスクが低減し、平成7年から新たに進出した商業施設数が約100施設、また約1,400人も雇用を創出。



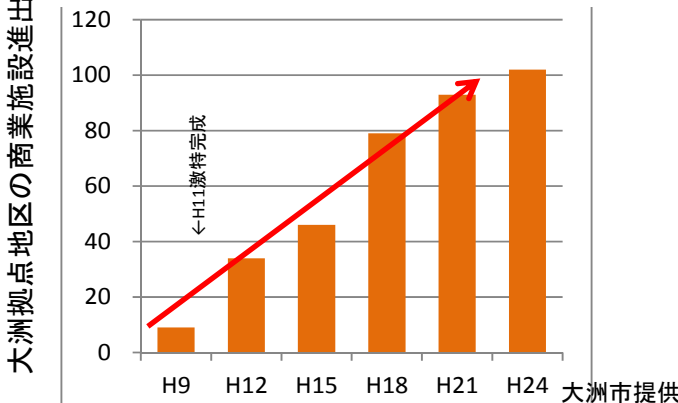
大洲盆地は松山と南予地方を繋ぐ交通の要衝南予地方の数少ない広大な平野

⇒ 浸水リスク低減により、企業立地が促進



治水対策メニュー
国：堤防整備(H11完)
大洲市：二線堤整備(H16完)
貯留施設整備(H22完)

商業施設数が約100施設増加

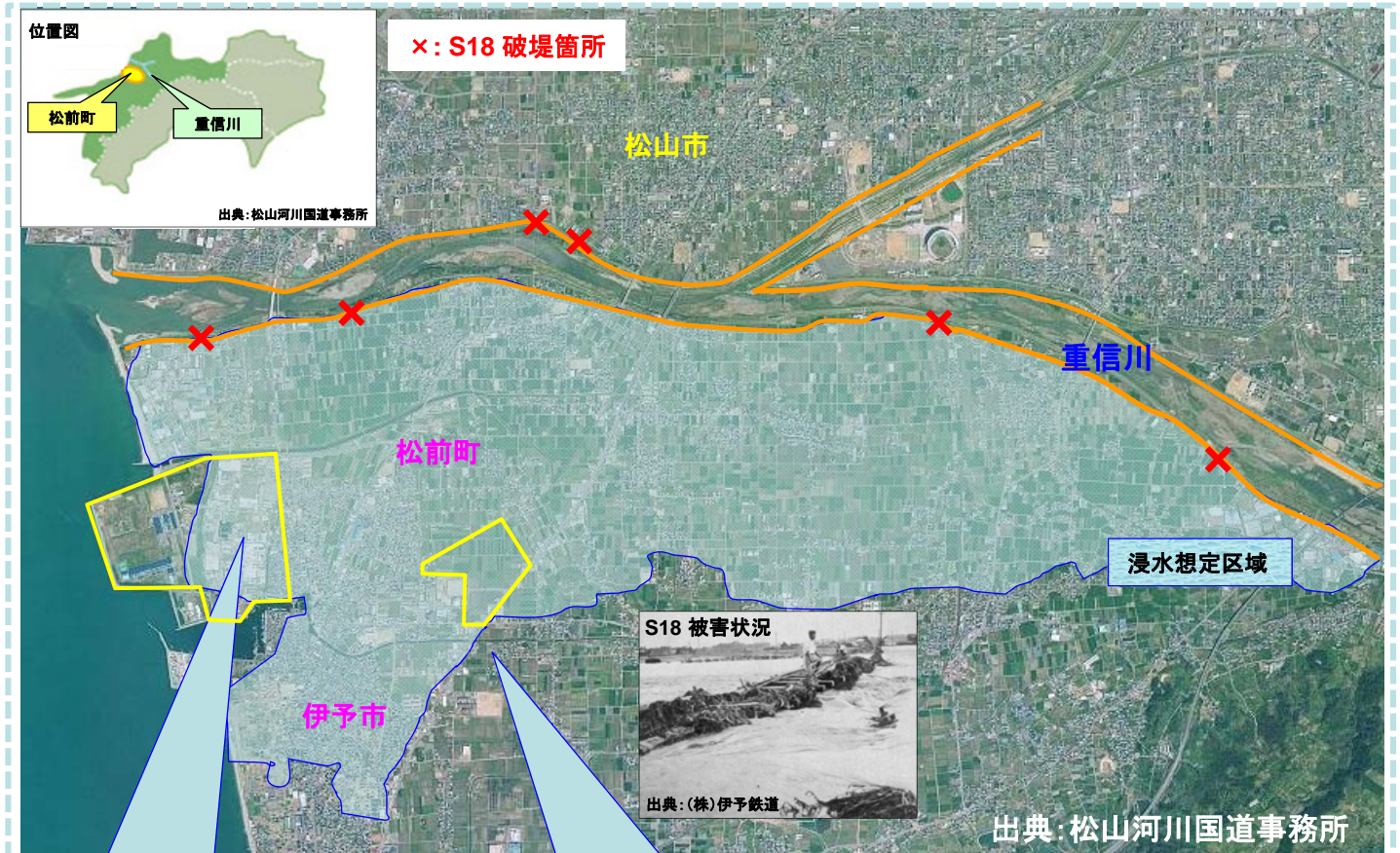


約1,400人の雇用を創出



地域経済を支える堤防整備【愛媛県松前町・伊予市】

- 治水事業により浸水リスクが低減し、松山市のベッドタウンとして人口が**1.3倍**(松前町)、**1.1倍**(旧伊予市)に増加。
- 炭素繊維の世界シェア**35%**を誇るナンバーワン企業が立地。
- 安全、安心な生活空間に、**中四国最大規模**の商業施設が立地し、**約2,500人の雇用**を創出。



炭素繊維で世界No.1!!
(世界シェア35%)
東レ(株)愛媛工場



炭素繊維の用途

<p>ロケット</p> <p>衛星搭載部、段間部、固体ロケットブースターケース等に使用</p>	<p>航空機</p> <p>中央翼、主翼前縁、尾翼、圧力隔壁等に使用</p>
<p>自動車</p> <p>F1のコックピット、燃料電池車の水素タンク等に使用</p>	<p>ゴルフクラブ</p> <p>軽量化シャフトに使用</p>

出典: クリップアート

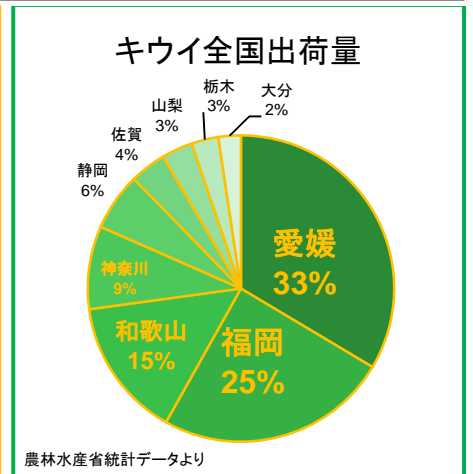
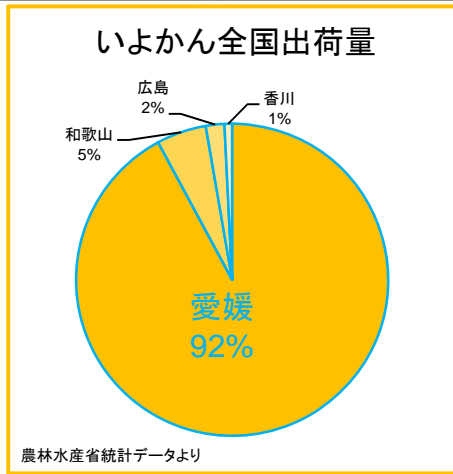
中四国最大級の商業施設
エミフル松前
敷地面積 約200,000㎡



松山市の農業活性化に寄与

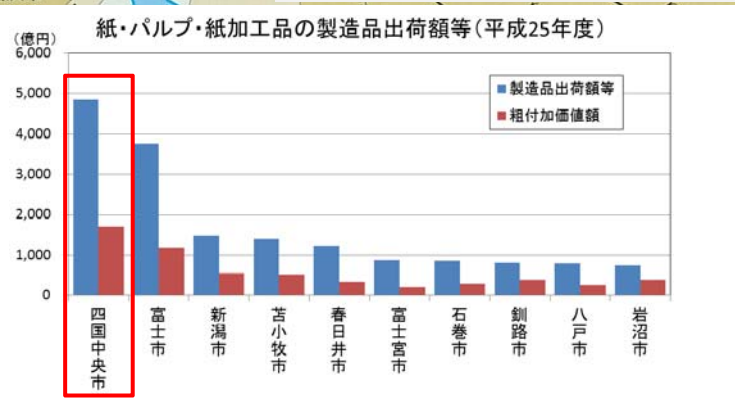
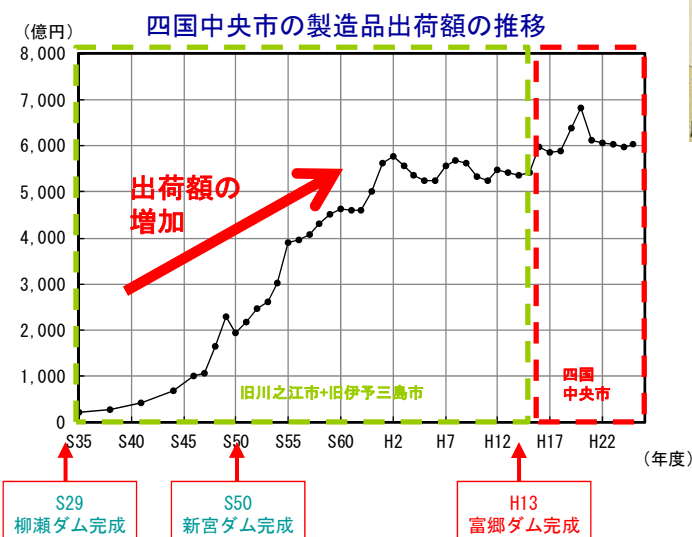
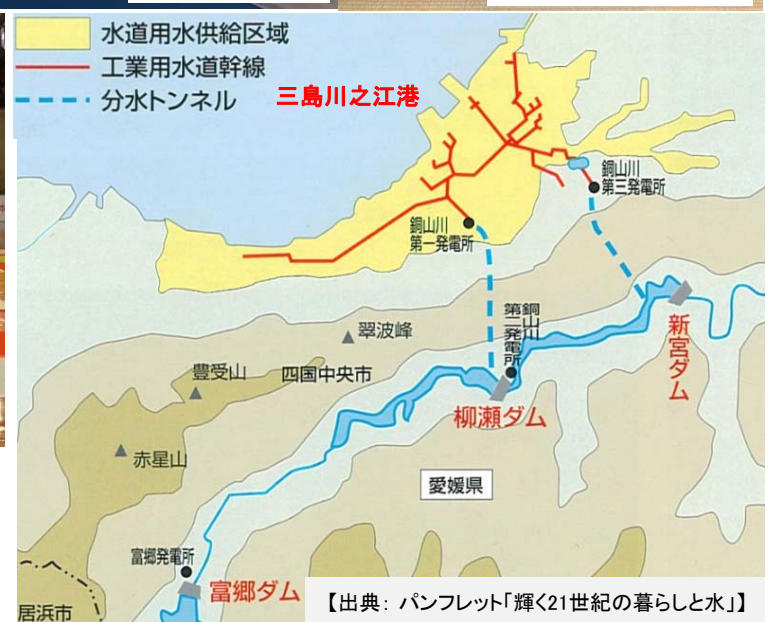
えひめ まつやま
【愛媛県松山市】

- 石手川ダムのかんがい用水を供給している地域では、いよかんやキウイ、ぶどう等の多様な農産物を栽培しており、地域の農産物活性化に寄与している。
- 愛媛県のキウイ、いよかん出荷量全国1位に貢献している。
- ぶどう農家で栽培されている『伊台・五明こうげんぶどう』は2010年には、「まつやま農林水産ブランド認定品目」にも指定され、松山市を代表する名産物のひとつとなった。



ダム・港が支える日本一の製紙業 えひめ しこくちゅうおう 【愛媛県四国中央市】

- 四国中央市の工業用水の100%が銅山川3ダムより供給されており、経済の中核となる製紙業の発展に寄与している。併せて、三島川之江港が、製紙関連貨物の輸送を支えている。
- 四国中央市の製造品出荷額は柳瀬ダム完成以降、右肩上がりに推移している。紙・パルプ・紙加工品の製造品出荷額においては平成16年度から10年連続で1位であり、銅山川3ダム・港が国内の製紙業の発展に寄与している。
- 平成20年からは「書道パフォーマンス甲子園」が開催され、「製紙」を生かした新たな文化が創出されている。

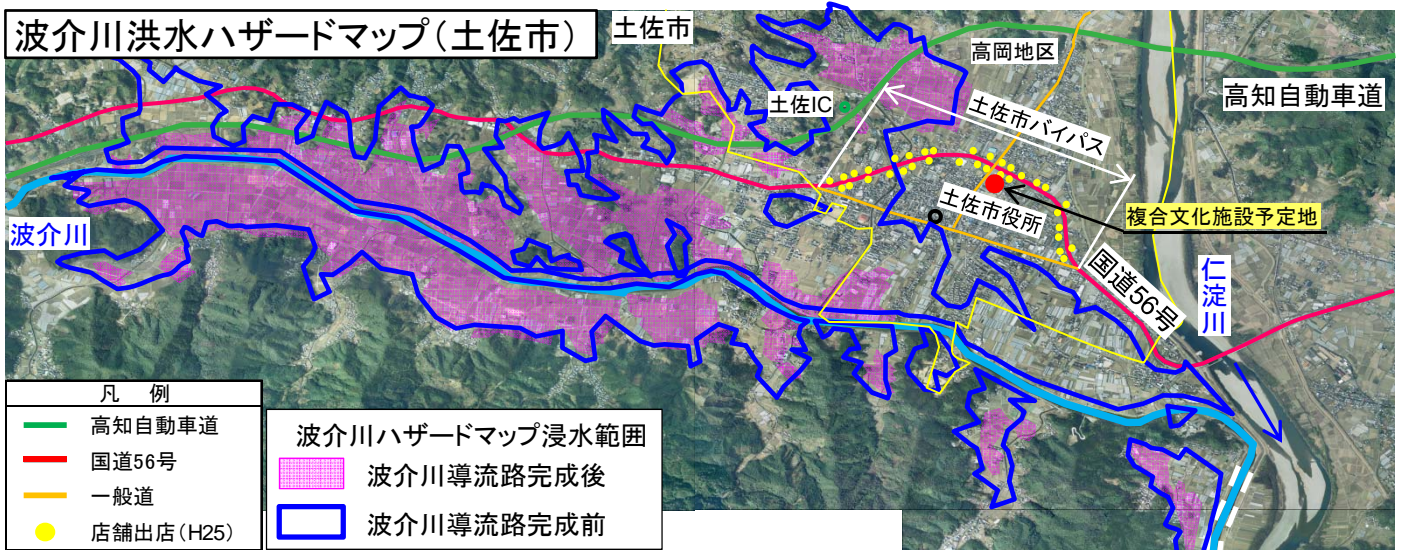
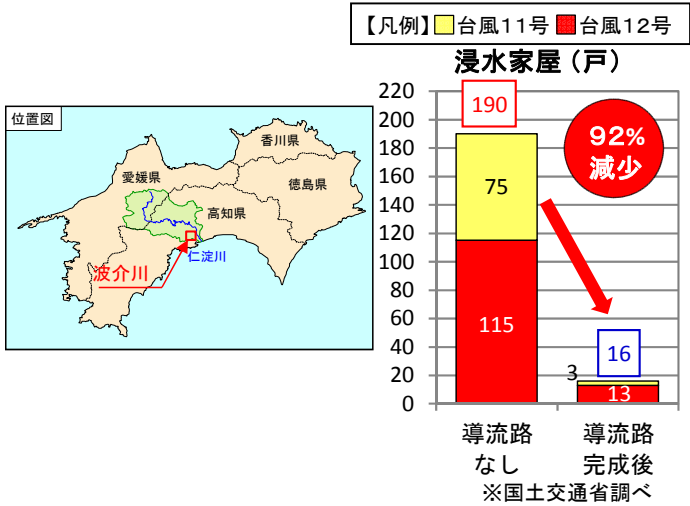


【出典: 経済産業省 平成25年度工業統計調査「市区町村編」を加工して作成】

【出典: 四国中央市 紙のまちランキングを加工して作成】

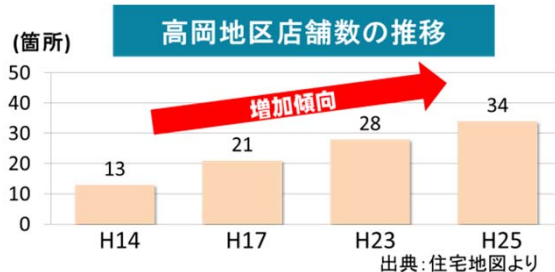
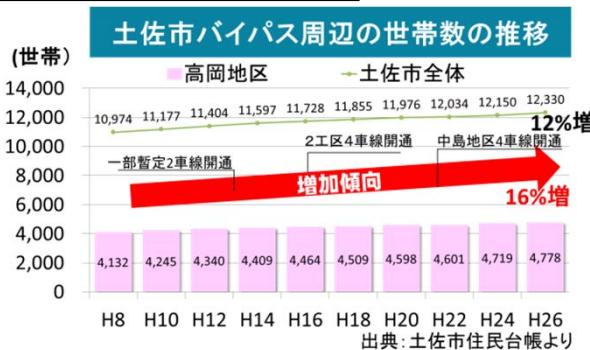
新たな導流路により期待が実現へ【高知県土佐市】

- 波介川導流路の完成により、土佐市中心部の浸水被害が激減
- 土佐市バイパスが完成(平成26年11月)し、高知市へのアクセスが改善
- 浸水リスク減少により、利便性の高い高岡地区での定住人口及び店舗が増加
- 企業進出に向けた取り組みもスタートし、更なる発展が実施へ



板原市長コメント (H27.5)

昨年の台風12号の際には、波介川河口導流路の治水効果を痛感した。これを、安心して健やかに暮らせるまちづくり、ひいては今後の土佐市の発展につなげていきたい。



波介川河口導流路

企業誘致に向けた土佐市の取り組み

実施内容: アンケート調査
対象: 四国4県、大阪府、兵庫県、和歌山県の1府6県
業種: 製造、物流などの企業
結果: 移転・進出可能性のある企業10社程度

河川敷の樹木伐採により^{しまんと}四万十川に 新たな観光地が誕生しました！

【高知県 ^{しまんと}四万十市】

アユの産卵に適した柔らかいレキ河原を再生するため、河川敷の樹木伐採・下草刈りを実施し、川の流れを良くしました。その結果、木漏れ日が広くいきわたり、菜の花が自然に発芽・開花するようになり、「菜の花まつり」が誕生しました。



before

うっそうとしていた河畔林を間伐すると・・・

【入田地区ヤナギ林】



after

毎年春には、百万本とも言われる菜の花が開花するようになりました！

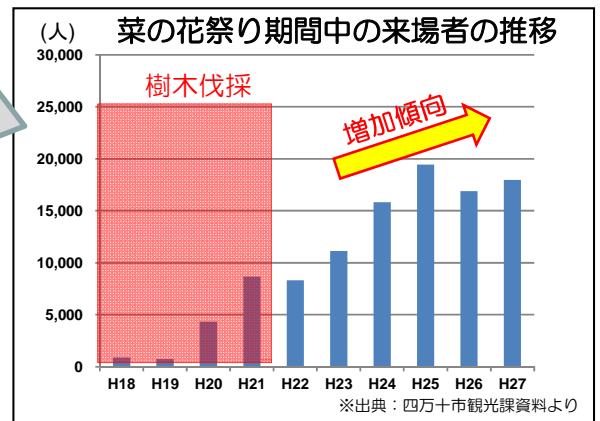


菜の花まつりの誕生

毎年3月頃に「菜の花まつり」が開催されるようになり
地域に賑わいと活力が生まれています



「菜の花まつり」(会場: 入田ヤナギ林)の認知度はどんどん上がり、まつり期間中(約1ヶ月)の来場者は毎年増加しています！



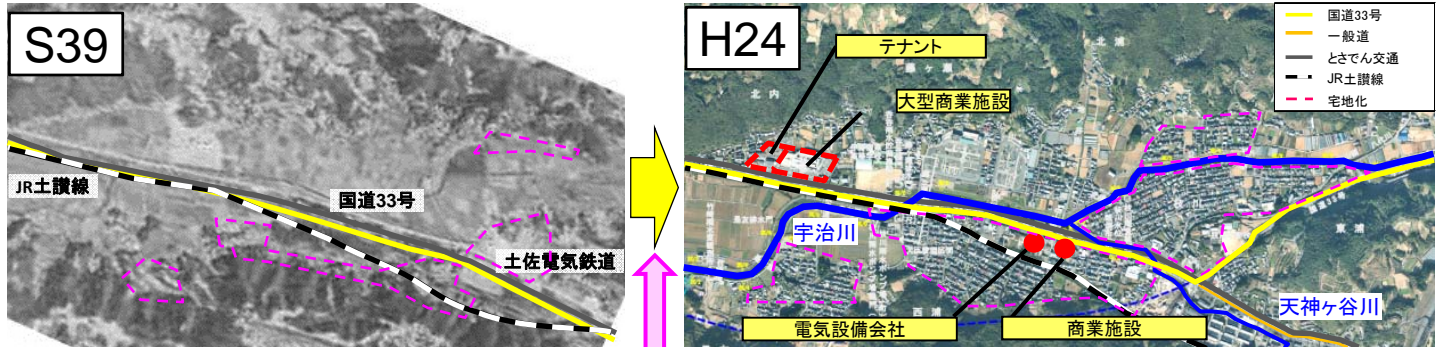
入田地区の樹木伐採実績

全体	H18 まで	H19	H20	H21
12ha	8ha	1ha	1ha	2ha

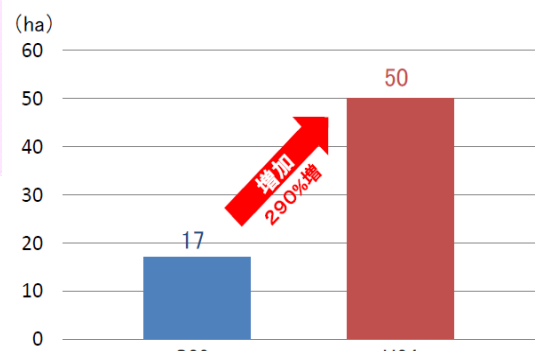


「安全・安心の確保」で商業施設等が続々と進出【高知県の町】

- 宇治川の治水安全度向上のため、**放水路等が整備**
- 社会基盤整備が進むに伴い、宇治川流域内の**宅地化**が進行
- 宇治川放水路完成の翌日に**大型商業施設が新規オープン**、既設店舗も**リニューアル**（衣食住が充実）
- 災害時に頼りになる**電気設備会社も移転**



- 宇治川排水機場 S50.3
- 宇治川排水機場増設 S51.7、S52.7
- 宇治川河道改修 S61.3
- 宇治川排水機場増設 H11.3
- 新宇治川放水路 H19.3



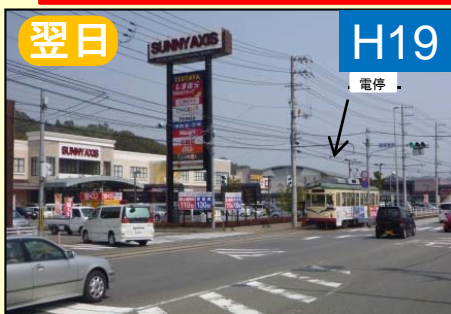
新宇治川放水路トンネル完成 (H19.2.24)



浸水被害の状況 (H16.8)

宇治川流域の宅地面積の推移 (航空写真より判読)

ハード整備の積み重ねが大きなストック効果に！



大型商業施設が新規オープン (H19.2.25)
大型商業施設前に電停完成 (H19.1.10)



同商業施設にテナントの新設 (H20.10.25)

大型商業施設	
衣料品	7 店舗
食料品	12 店舗
医療品	2 店舗
医療機関	1 店舗
その他	16 店舗
合計	38 店舗



いの町と災害協定締結(H27.5.19)
写真:いの町提供



既設店舗のリニューアルオープン(H19.3.31)



既設店舗のリニューアルオープン(H22.4)



災害時に頼りになる電気設備会社の進出
発電施設・通信網の早期復旧が可能(H26.7移転)

トマトの村を支える日下川放水路 【高知県日高村】

- 昭和57年2月の日下川放水路の完成が、ビニールハウスの栽培拡大に寄与し、付加価値が高いシュガートマトの一大生産地となった。
- シュガートマトを素材としたオムライスを提供する「オムライス街道」の取り組みが大盛況。(平成26年は参加6店舗約38,000食の売り上げ)
- さらに、平成26年11月には「村の駅ひだか」がオープン、鮮度抜群のトマトや同加工品の販売を主力に、わずか半年で約10万人の来場を記録している。
- 消費者からシュガートマト生産増量の要望もあり、ハウスの増設計画が進行

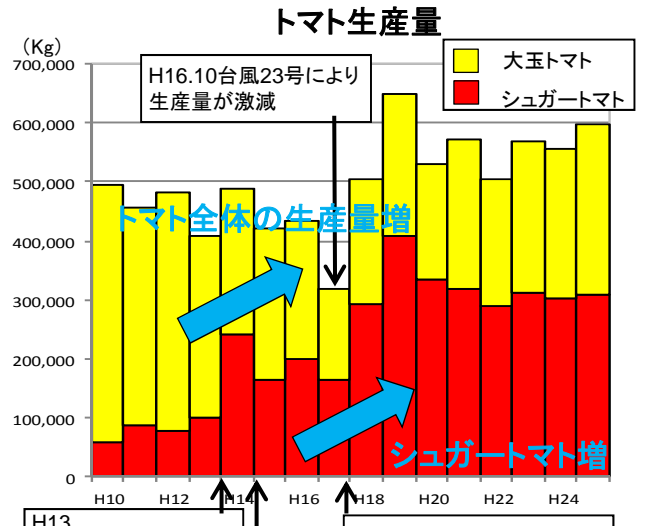
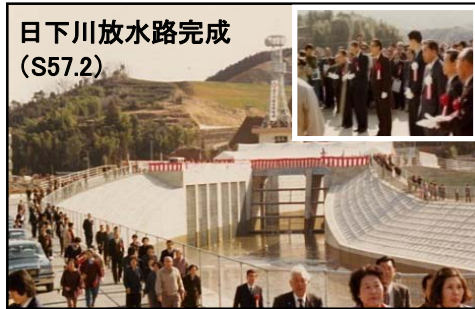


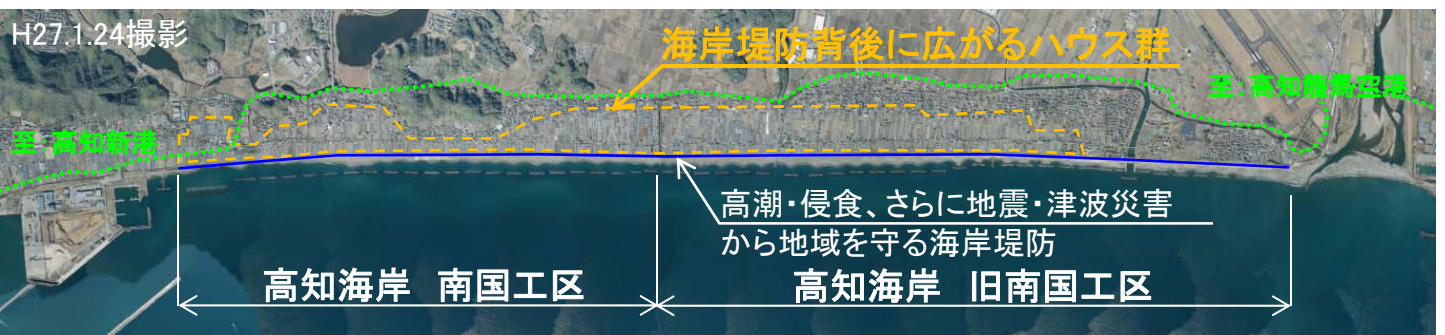
写真: 日高村提供

「オムライス街道」は戸梶日高村長の発案

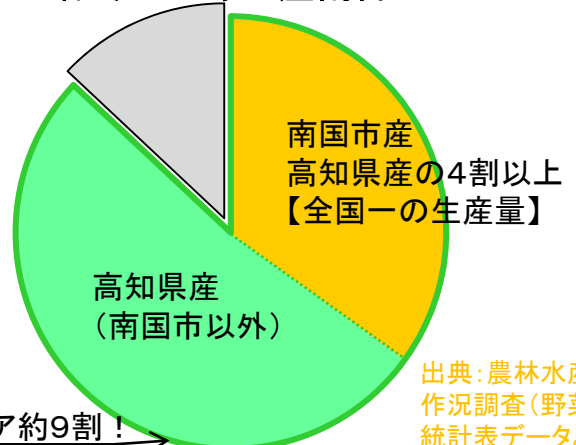
※生産量の集計年度は 4月～翌3月
出典: 日高村提供データより

ししとう全国一を守る堤防ぜよ！ 【高知県南国市】

- 昭和44年3月29日より直轄工事を実施し、高潮侵食対策の効果で越波被害が低減し、年間を通し安定した栽培に寄与。
- ししとうの生産量は全国一。なかでもハウス栽培が盛んで、春冬ししとうは全国出荷量の約9割が高知県産。その4割以上を南国市が占め、全国の台所を支えている。
- 地産地消をテーマに、市内の給食に地場産物を採り入れ、地域に根ざした食育活動を推進。また、未来の農業の担い手育成に奮闘中。
- さらに、農業レストランや高知龍馬空港での直売店を活用し、観光客へ南国高知を広くPRし需要拡大に寄与している。



春冬ししとう生産割合



高知県産
全国シェア約9割！